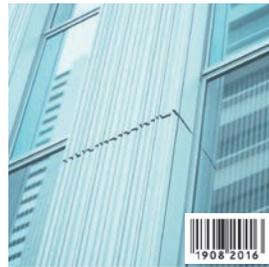


Otsumate

オーツメイト

MY FAVORITE OTSUMA WOMEN'S UNIV.

3 SHOT



来て、見て、探して！ Otsuma Trivia

校舎壁面に潜むバーコード

千代田キャンパスのとある校舎の外壁にデザインされたバーコード。創立者の大妻コタカが裁縫・手芸の私塾を創設した「1908」年と、この校舎が竣工された「2016」年をつなげた数字「19082016」になっています。そのちょっと変わった外壁は、どこにあるのか？この冊子の中に答えがあるかも。

WEB / SNS

LINE Twitter Facebook YouTube

大妻女子大学公式SNSで、最新ニュースを配信中！

Instagram

「Otsumate」未公開カット、配信中！

大妻女子大学公式Instagramもチェック！ #otsumate



大妻女子大学
ホームページ



オープン
キャンパス

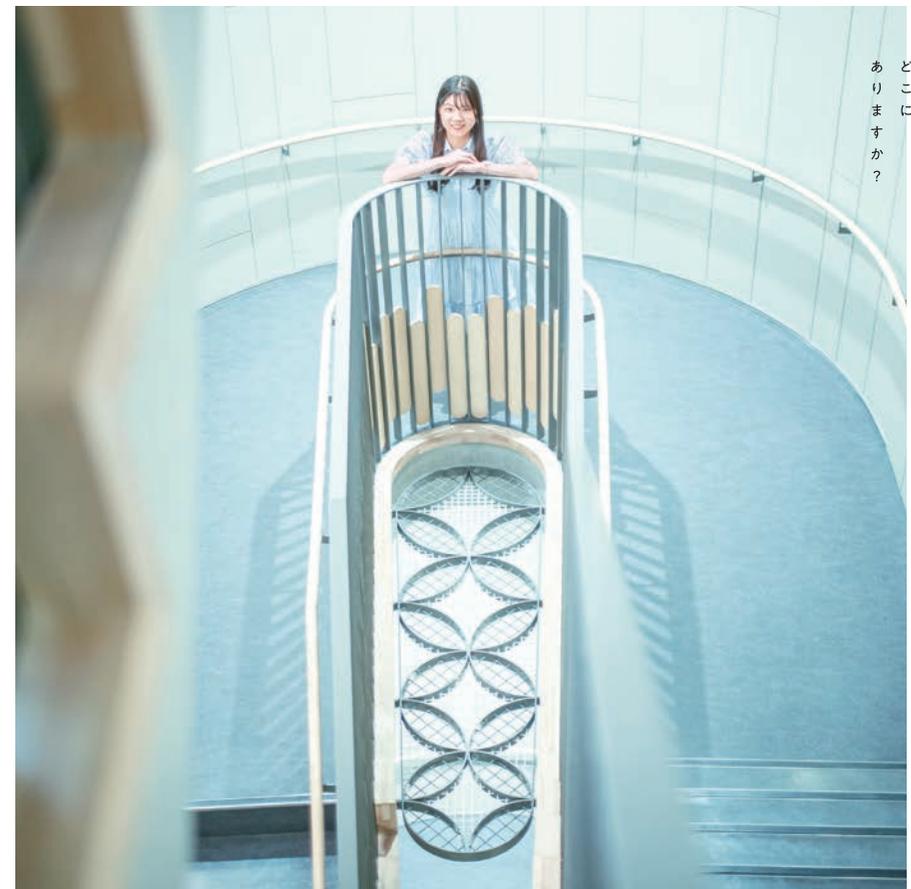
千代田キャンパス

●家政学部 ●文学部 ●社会情報学部 ●比較文化学部 ●短期大学部
〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地 TEL:03-5275-6011

多摩キャンパス

●人間関係学部
〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1 TEL:042-372-9970

大妻女子大学
大妻女子大学短期大学部



好きな時間は、
どこに
ありますか？

2022 - VOL.1

Otsuma Women's University Information Magazine

MY FAVORITE
OTSUMA
WOMEN'S UNIV.

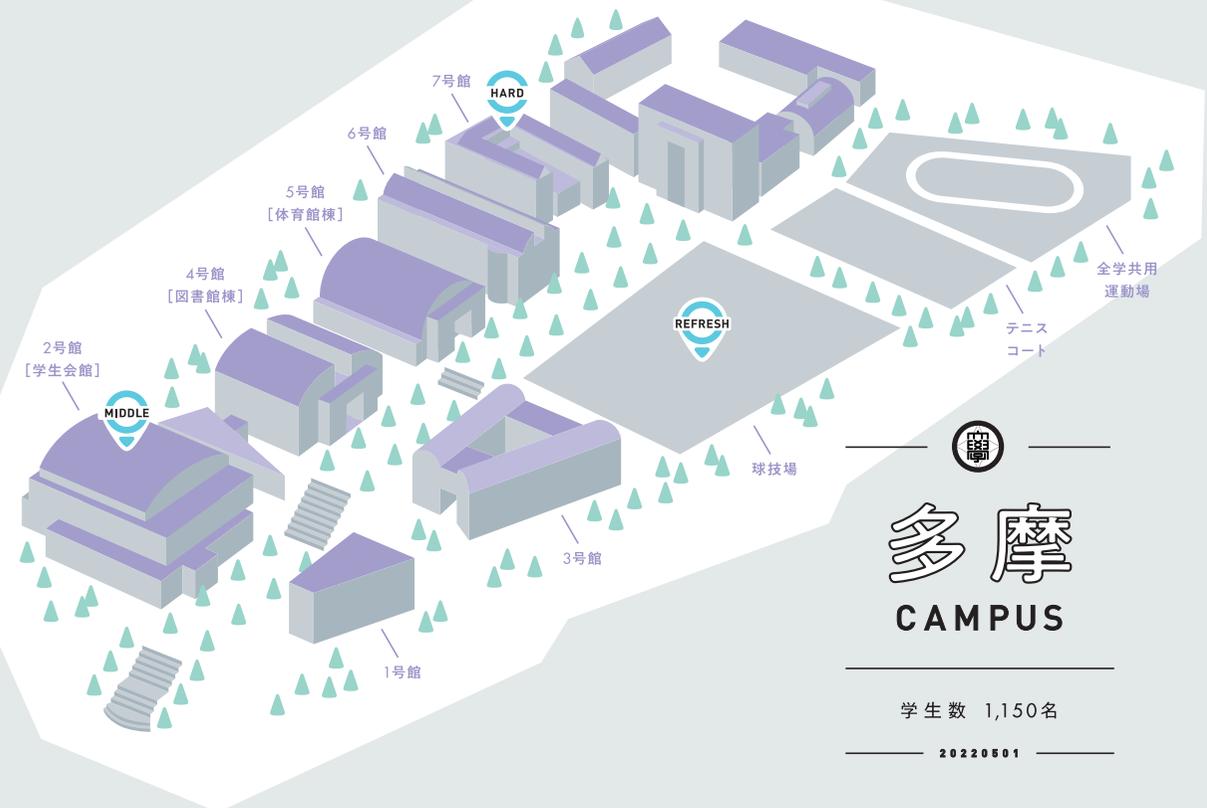
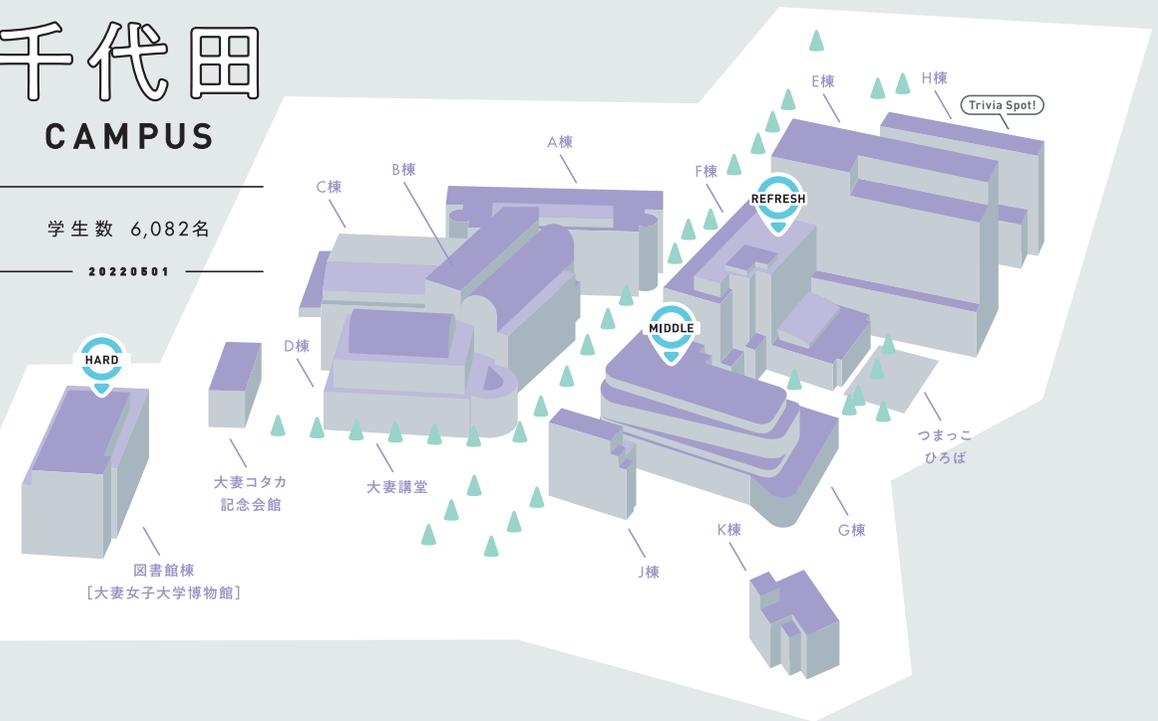
3 SHOT

もしも、3枚の写真で、自分たちの毎日を写し出すとしたら？
千代田キャンパスで、多摩キャンパスで、
彼女たちはどんなシーンを選ぶのでしょうか。
学びに打ち込んでいる“HARD”の時間。
チカラを抜いて、ほどよく集中している“MIDDLE”の時間。
そして、好きなことや課外活動に取り組む“REFRESH”の時間。
3枚の写真から、この場所にしかない空気を、
彼女たちのリアルなキャンパスライフを、感じとってください。

千代田
CAMPUS

学生数 6,082名

20220501



多摩
CAMPUS

学生数 1,150名

20220501

千代田 CAMPUS



講義や実習、資料探して、
さまざまな施設を利用する
家政学部の清水さん。
忙しい時間を過ごしなが
らも彼女が好んで訪れる
場所は？

明るく華やか。けれど、穏やかな空間。

おしゃれで気分が上がる場所もあれば、ゆったりくつろげる場所もある、素敵なキャンパス。その時の気分に合わせて過ごすことができます。周囲の上品な街並みが好きで、特に桜の季節の靖国通りは幸せな気持ちにさせてくれます。

HARD

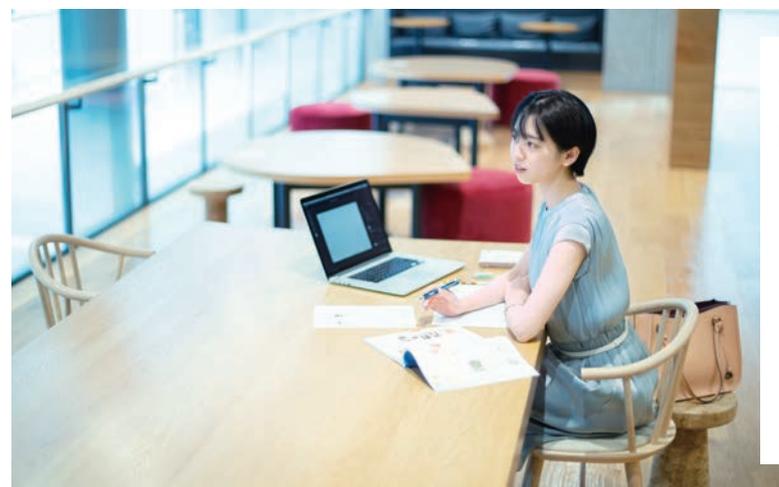


図書館棟3階

文献探しはかどる、 静かで落ち着ける空間。

銀色の柱とガラス張りのきれいな外観の図書館です。講義で使う文献から雑誌まで幅広く書籍がそろっていて、自習スペースやパソコンフロアも充実しているので、よく利用しています。都心とは思えないほど、静かな時間が流れているのも魅力です。

MIDDLE



C棟2階 kotacafé annex

開放的な雰囲気、 アイデアも湧いてくる。

開放的なカフェのように居心地がいい場所。周囲からほどよく聞こえてくる学生の話し声で、適度にリラックスもでき、服飾の課題を考えたりするときにもいいアイデアが出てきます。床暖房もついているので、冬でも快適です。

REPERESH



F棟2階 学生食堂(kotacafé)

落ち着いたインテリア。 人や街を眺めて過ごす。

ダークブラウンのインテリアや、ゆったりできるソファがお気に入りです。日替わりのプレートランチや、スイーツのメニューが豊富なのがうれしいですね。ランチを取りながら大きな窓から都心の風景を眺めて過ごすのが、私の息抜きになっています。

多摩 CAMPUS



大学に入ってラクロスを始めた、人間関係学部の周郷さん。勉強もスポーツも全力で取り組む毎日の中で、彼女が選んだお気に入りの場所は？

緑が映える、気持ちのよい環境。

最寄りの唐木田駅から5分程歩けばもう到着。学園通りのケヤキ並木など自然との調和が美しい、四季を感じられるキャンパスです。クラブ活動の後や授業の合間にもきれいな緑を眺められて、穏やかな気持ちにさせてくれます。

HARD



7号館1階 | 学生ラウンジ

朝のうちに集中して、課題を仕上げる。

人間関係学部の授業が行われている7号館。その中心にあるラウンジは、授業の合間に利用しやすい空間です。私はラクロス部の朝練が終わった後、次の授業までの隙間時間に、課題や予習などに取り組むためによく利用しています。

MIDDLE



2号館2階 | TAMARIBA

見晴らしのよい場所で、グループワークや雑談を。

テラス席で過ごす時間が好きで、よく利用します。課題をしたり、授業の合間の気分転換に來たり。心理学のグループ研究でのミーティングの場所としても使っていますが、屋外の解放感からか、いつもより活発な意見交換ができるような気がします。

REPERESH



球技場

広大なグラウンドで、体も心も動かす。

緑に囲まれて、風も心地よく吹くグラウンド。いつもきれいに整備されているので、使いやすいです。大学から始めたラクロスは、今、週に5日練習していて、最初は勉強との両立が不安でしたが、毎日が楽しく充実しているので続けられています。



「聞く。話す。」

NURTURING TRULY
INDEPENDENT WOMEN
AND WORKING.
WHO CONTINUE LEARNING

学年や環境の異なる二人が、開かれた心と姿勢で対話する連載。
今回は、入学したばかりの1年生と彼女らを迎え入れた4年生。
それぞれの観点から、大妻女子大学の魅力について語り合いました。

寄り添う。

大学、どうやって選びましたか？



OTSUMA CROSSTALK START I →

学生や先生方と関わっていく中で
感じられる大妻ならではの温かさがある。

— 土屋さんは、高校生のときにオープンキャンパスに参加されて、大妻女子大学にどんな印象を持ちましたか？

土屋 在学生も先生も、とても熱心で明るい人が多いイメージでした。第一志望が大妻だったということもあり、緊張していたのですが、在学生の方が優しく声をかけてくれたので、和やかな気持ちになりました。個別相談では、長時間質問しつづけてしまいましたが、皆さん嫌な顔一つせず、丁寧に教えてくださり温かい方々だなと思いました。

谷口 私はオープンキャンパススタッフをしましたが、大妻は学生支援が手厚いと感じていたことから、オープンキャンパスではその魅力を伝えられればと思っていました。ホームページや大学案内である程度の情報は手に入るかもしれませんが、実際に在学生や先生方と関わっていく中で大妻の温かさを感じてもらって、いいなって思っただけです。参加した高校生が困ってそうであればすぐ話しかけたり、悩みを聞いたりして不安を少しでも取り除いてあげられたらなと思っていました。

— 高校生からは、どんな相談があったんですか？

谷口 そうですね。私が聞いたものだ、やっぱり女子大だから、女子だけの人間関係や交友関係についての不安が多かったと思います。私自身、高校までは共学だったこともあって、入学するまでは、女子だけだと上手くいかない部分もあるのかなど不安だったのですが、全くそんなことはなくて。なので、相談を受けた高校生には、心配しなくてもいいよということを伝えました。

土屋 私も最初は、交流の幅が広げられるか不安だったのですが、在学生の方に相談した際に、サークル活動でさまざまな人と関わられることを教えていただき、安心して受験することができました。また、私は面接のある入試で入学したのですが、受験生の頃は面接についての不安もあったので、どのような質問をされたかについても教えてもらいました。英語英文学科は英語の面接もあったので。

谷口 英語で面接を受けたんですね。すごい…!

土屋 受験した人にしかわからないことや勉強の仕方なども教えてくださったので在学生の方には感謝しています。私もそんな先輩方のように高校生をサポートしたいと思い、今年の5月からオープンキャンパスのスタッフ活動をしています。自分自身も大妻についてさらに知ることができるので、貴重な経験になっています。

谷口 受験を経験した人たちから話を聞けると、やっぱり心強いですね。さらに大学の雰囲気や、いまやるべきことがつかめたりして。

土屋 はい。それから、オープンキャンパスでは、体験授業がすごく面白かったです。誰もが知っている日本の名作映画を英語版で観て、文化の違いを読み取るという内容

の授業だったのですが、普段そのような視点で映画を観ていなかったですし、高校ではそういう勉強をしていなかったこともあり衝撃でした。体験授業には2回参加したのですが、2回とも先生との距離感もほど良く、実際に入学して学んでいる気分になって、ここで勉強したいと強く思いました。

谷口 確かに、高校ではテストの点数や偏差値を上げるために勉強していた部分がありましたが、大学では純粋に好きなことを深く学んでいけるので、新しい発見があって楽しいな、充実しているなって思います。

人間性を高められて、自立した強い女性になれるイメージが持てた。

土屋 さまざまな地域から人が集まってくることもあって、友達の幅も広がりました。多くの人を知り、受け入れるという中で人間性も高められていると感じています。

谷口 関わる人の幅が広がるよね。例えば高校まではみんな同じ制服を着ていたのが、自分の好きな服を着られたりして個性が見えやすくなるから、多様な人と関わっているという実感は強いですね。

土屋 授業のグループワークで意見交換をする中で、自分以外の考え方に気づけることがあったり。

— あらためて、大妻女子大学に入ってよかったと思えたことを教えていただけますか？

谷口 まず、日本文学科では、万葉集から中世近世、現代の作品まで学べる上に、言語表現やメディアの授業もあり、文学についてさまざまな視点から興味深く学べたのがよかったです。また、資格の取得やオープンキャンパススタッフ、サークルなど、さまざまなことに挑戦できる環境があったので、勉強、課外活動、アルバイトも含め自分の世界を広げることができました。

— 土屋さんは、受験生時代、大妻女子大学のどんな所に魅力を感じていましたか？

土屋 大学案内を見たときに、社会に出て活躍されている方がこんなにもいるんだと驚きました。学力だけでなく人間性も高められて、自立した強い女性になれるというイメージが強く印象に残り、大妻を志望しました。

— 最後に、お二人から受験生の皆さんへメッセージをお願いします。

谷口 オープンキャンパスでは、学生スタッフが皆さんの知りたいことに丁寧に答えながら不安を解決してくれます！どんどん声を掛けて、オープンキャンパスを有効活用してくださいね。

土屋 私のように体験授業や個別相談を活用することで、きっと自分に合う大学が見つかります！ぜひ大妻と一緒に学びましょう。

— 今日はどうもありがとうございました。

PROFILE

[右] 谷口 さくらさん 文学部 日本文学科 4年 [埼玉県私立武南高等学校出身]

[左] 土屋 芽生さん 文学部 英語英文学科 1年 [千葉県立若松高等学校出身]

持って、歩いて、チェックして♪

Otsumate

CHECK LIST

オープンキャンパス、どこを見る？

より充実したオープンキャンパスになるよう、
意外とみなさんが見落としがちなポイントをリストにしました。
事前に読んで、イメージして、参加してみてください。

CHECK 1 リアルな通学を体験してみましょう。

これから毎日通うことになるかもしれないキャンパス。通学にかかる時間や費用、乗り換え回数、そして、最寄駅からの道順や歩いてどのくらいかかるか、キャンパス周辺の環境はどうかなどもチェックしましょう。

CHECK 2 授業を体験してみましょう。

高校と大学では授業の進め方が違うことも。体験授業では、大学の普段の授業に近い内容を体験できるので、「学び方」や教員の雰囲気や自分に合っているかなどを確かめながら、入学後イメージしてみましょう。

CHECK 3 教員と実際に話してみましょう。

自分が関心のあることをどう学べるか、自分に合うか、実際に授業を受けることになる教員と話をして確かめてみましょう。学びについて踏み込んだ話を聞けるのはもちろん、入試に向けた面接の練習にもつながります。

CHECK 4 大妻生とも話してみましょう。

個別相談に参加して、学生にしか分からない、リアルなキャンパスライフ、先輩の入試対策やアドバイスも聞いてみましょう。

CHECK 5 入試対策講座を受けてみましょう。

実は、入試についてのお役立ち情報も豊富。7・8月は、推薦入試の対策講座を。10・11月は一般選抜の対策講座を実施する予定。上手に活用して、合格にぐっと近づきましょう。

集まろう、この場所で。

どんな大学生になりたいんだろう。
大学に、何を求めているんだろう。
それを見つけに、大妻女子大学に来てみませんか。

ここには、可能性を引き出すことを、
いちばんに考えた環境があります。

主体的に動く人たちの、
姿勢と眼差しがあります。
そして、学ぼうとする人たちに、
深く寄り添う心があります。

検索しても見つからない、
個性と魅力に触れてください。

一歩外へふみだして、
出会って、話して、感じてください。
私たちは、そんなことを大切にしています。

Otsumate
オーツメイト